

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



熊本県議会厚生常任副委員長として熊本県保健医療推進協議会の今期の県の取組状況についての会議に出席させていただきました。会議では県内福祉や教育・地域代表のトップらがそれぞれの抱える問題への対応や、若手人材不足の課題等の対応を県に求めました。超高齢化・人口減少社会において持続可能な医療体制を守っていく必要がある中で、新型コロナウイルス感染症を踏まえたまん延時における医療体制の充実や、人と動物、環境の健全性を一体的に守る「ワンヘルス」の考え方等、新しい課題もあります。私も福祉についてもっともっと勉強していかないといけないと思いました。

【 R7.1.14 第 19 回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会 】

宮崎観光ホテルで行われた防衛議連絡協議会の総会と航空自衛隊新田原基地の発着訓練視察に日帰りで行ってきました。防衛庁顧問 山崎幸二氏による講演「我が国の平和と安全を守る～防衛力の抜本的強化について～」で語られたように東アジアの国際情勢が緊迫化する中、自衛隊の新たな連携体制の構築による抑止力強化と九州における支援体制の確立が求められます。平和が一番！



書籍紹介



『倫理資本主義の時代』

マルクス・ガブリエル/著

ドイツのボン大学哲学科教授に史上最年少 29 歳で就任した知の巨人が断言する。世界の活路は脱成長ではなく道徳的価値と経済的価値の再統合「倫理資本主義」にあると。

本書紹介（目次より）

- ・道徳的価値と経済的価値をリカップリングさせる
- ・道徳的進歩と持続可能性
- ・子どもたちに選挙権を！
- ・次世代の AI 倫理

今月の数字

熊本県内の救急入電から病院までの搬送に要した時間

42.6分(全国平均 47.2分)

令和4年度の119番通報から患者の救急医療機関到着までの平均時間。県内の救急出動件数は増加傾向にあり搬送時間も前年から3分程長くなっています。それでも全国平均より5分早く「熊本型」へり救急搬送による700件超の搬送の効果もあるのでしょうか。救急搬送患者のうち入院加療を要しない方の割合は全体の3分の1で、今後は電話による相談体制の強化や地域全体において重症度、緊急度に応じた対応が更に求められます。また、これからTSMC進出により外国人からの119番通報の増加が見込まれています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校] 託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科

[経歴] 現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格] 宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士